

西日本建物管理株式会社

2017年度 環境活動レポート

対象期間 : 2017年6月1日 ~ 2018年5月31日

発行年月日:2018年8月25日



【 目次 】

1. トップメッセージ
2. 環境配慮の方針等
3. 事業の概要と対象範囲
4. 環境目標と活動計画
5. 環境目標の実績
6. 代表者による全体評価と見直しの指示
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認並びに違反、訴訟の有無

【 1. トップメッセージ 】

西日本建物管理株式会社は、昭和36年10月2日設立以来、岡山県下の病院やオフィス・学校・公共施設の総合ビルサービスを提供して実績を上げて参りました。

私たちは企業理念である、先進性とチャレンジ精神で、お客様の繁栄と幸福を追求していきます。さらに、一人一人が素晴らしいと言える企業を目指し、他に類のないシステムと絶えざる教育をもって実現に努めます。を元に、お客様の生活環境に直結する清掃業務を行う上でも、当社は環境者社会に対する倫理的な責任を果たす必要があります。

本環境報告書は、当社における「エコアクション21」の活動を総括し、1年間の成果をまとめたものです。

当社に関わる皆様には、本レポートを通じて当社の環境活動にご理解いただければ幸いです。今後とも、「お客様の繁栄と幸福の追求」に努め、社内における環境活動の継続・改善ならびにお客様に提供するサービスの向上を推進していきます。そして、お客様と共に地球環境を大切にし地域に貢献できるように、また、信頼頂ける企業になるよう全社員で取り組んで参ります。

西日本建物管理株式会社
代表取締役 林 茂樹

【 2. 環境配慮の方針等 】

制定日 2003年11月11日

改定日 2018年01月25日

【 環境理念 】

1. 私たちは、お客様と共に地球環境を大切にします
2. 私たちは、お客様と共に地球資源を大切にします
3. 私たちは、お客様と共に生活環境を守る努力をします

【 行動指針 】

1. 環境負荷低減の継続的改善に努める
2. 環境関連法規等を遵守する
3. 環境負荷低減のための重点項目
 - ① 電気・水道の省エネを推進する。
 - ② コピー用紙の使用量削減に取り組む。
 - ③ 自動車燃料の消費量削減をはかる。
 - ④ 廃棄物の削減とリサイクルに取り組む。
 - ⑤ お客様と共に環境負荷削減に努める。
 - ⑥ 全社員の意識向上のための教育を実施する

代表取締役 林 茂樹

【 3. 事業の概要と対象範囲 】

1) 名称及び代表者氏名

西日本建物管理株式会社 代表取締役 林 茂樹

2) 所在地

岡山市北区内山下2丁目11番18号 共済会館ビル5階
TEL (086)232-0844 FAX (086)232-0983

3) 事業概要

清掃管理・設備管理・環境測定管理・貯水槽給水設備管理
防虫防除管理・サービス管理

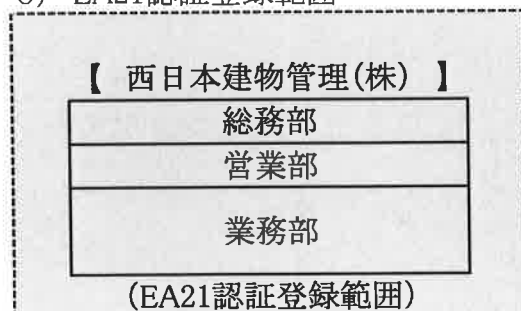
4) 事業規模

資本金 1,000万円 従業員数 180名

5) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 統括部長 春木新矢
担当者 上に同じ E-mail : haruki_ntk@nntk.co.jp

6) EA21認証登録範囲



【 4. 環境目標と活動計画 】

1) 2017年度環境目標

項目	単位	基準値 (2016年実績)	単年度目標	中期目標
			(2017年度)	(2019年度)
二酸化炭素排出量	t-CO ₂ /年	22,723.0	基準値-1%	基準値-2%
総排水量	m ³ /年	167.0	基準値-1%	基準値-2%
廃棄物発生量	kg/年	442.0	基準値-1%	基準値-2%
化学物質発生量	ℓ/年	1,296.0	基準値-1%	基準値-2%
コピー用紙購入	枚/年	56,500	基準値-1%	基準値-2%

※1 CO₂排出係数(購入電力…0.719 / 自動車燃料…ガソリン2.32・軽油2.62)

※2 化学物質の発生量(洗剤・剥離剤・WAX)の発生量。…PRTR法該当品の取り扱いはありません。

2) 活動の計画

○年間の活動計画と内容

活動項目	時期	担当者	内容
EA21会議	毎月第3木曜日	EA21事務局	各部責任者及び担当者の会議
目標・方針の見直し	6月	各部門	前年度の結果に伴い当年度の目標と方針の見直しを実施する
レポート作成	7月	EA21事務局	前年度の活動レポートを作成する
内部監査	11月	内部監査人	各部の評価・確認を行う
マネジメントレビュー	5月	社長	年度の反省と次年度の方針の検討

【 5. 環境目標の実績 】

1) 2017年度実績

項目	単位	目標 (基準値-1%)	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	t-CO ₂ /年	22,495.8	26,178.4	85.9%
総排水量	m ³ /年	165.3	96.5	171%
廃棄物発生量	kg/年	437.6	477.2	91.7%
化学物質発生量	ℓ/年	1,283.0	756.0	169.7%
コピー用紙購入	枚/年	55,935	41,000	136.4%

※二酸化炭素排出量のうち施設管理者変更により電気使用量が計上不可、ガソリンのみの計上となります。

【 将来の環境施策 】

環境配慮に適した資機材を選択すると共に、廃棄物の排出を減らすよう努めていく。

2) 今年度の評価と次年度の取り組み

項 目	今年度の評価と次年度の取り組み
二酸化炭素排出量	<p>【評価】 経営方針の変更に伴い、顧客訪問件数を増やしていくことで、ガソリンの使用量が増加し排出量の増加につながり目標を達成することが出来なかった。</p> <p>【次年度の取り組み】 顧客訪問件数を減らすわけにはいかないため、こまめなアイドリングストップや、冷暖房の使用を極力控えるなどしてガソリンの使用量を減らしていく。</p>
総排水量	<p>【評価】 本社業務での洗浄作業件数が減少したため、道具の洗浄等が減少し、水使用量が減少したために目標を上回る結果となった。</p> <p>【次年度の取り組み】 次年度も本社業務での作業件数が減少したままになるため、現状維持に努める。</p>
廃棄物発生量	<p>【評価】 本社の整理整頓を実施し、不要なものを廃棄したために廃棄物発生量が増加し、目標値を上回る結果となった。</p> <p>【次年度の取り組み】 不要となったものをこまめに廃棄し、モノをため込まないようにする。また、必要不可欠なもの以外の購入を抑えることで廃棄物の発生を減少させる。</p>
化学物質発生量	<p>【評価】 排水量と同じく、本社業務での作業件数減少に伴い、ワックス及び洗剤の使用量が減少する結果となった。</p> <p>【次年度の取り組み】 現状維持に努めて、使用量を増やさないようにすると共に、ワックスや洗剤の使用量を減らせる技術の開発に取り組む。</p>
コピー用紙	<p>【評価】 裏紙の使用や、無駄なコピーを減らす、文書のデータ化を実施することにより、コピー用紙の使用量を減らすことが出来た。</p> <p>【次年度の取り組み】 これまでの活動を継続して行い、使用量が増加しないよう取り組んでいく。</p>

【 6. 代表者による全体評価と見直しの指示 】

1) 評価と見直しの指示

【 EAシステム全体の評価 】		
社員一人一人が環境への意識を持ち、自分に出来る事から取り組む事が大切です。今後もこの活動を継続していきましょう。		
項目	評価	改善指示
環境方針	現状に合わせて変更をする。	一部修正を指示
環境目標	現状維持を目標とする	継続実施
環境活動計画	見直しの必要はなし	継続実施
EA21システム	見直しの必要はなし	継続実施

2) 代表者の指示に対する環境管理責任者の処置

項目	内容
代表者の指示に対する処置	行動の指針において、一部変更を実施し、変更された環境方針を作成し配布をした。

【 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認並びに違反、訴訟の有無 】

1) 違反事項・関係機関からの指摘事項・提訴等

2017年度 … 0件

※過去5年間の違反・指摘事項及び提訴等は有りません。

内容	環境関連法規	関係省庁・機関	指摘
①環境測定管理業務	建築物衛生法	厚生労働省・岡山県生活衛生課	無
②貯水槽給水設備管理業務			
③防虫防除管理業務			
④環境改善業務	消防法	総務省・各管轄消防署	無
④設備管理業務	廃掃法	環境省・岡山市環境局	無
⑤廃棄物			